



平成30年12月18日
帯広開発建設部
網走開発建設部

十勝オホーツク自動車道「りくべつしょうとしべつ陸別小利別ICくんねつぶ～訓子府IC」

開通1年後の効果について

～ 救急搬送の速達性向上やインバウンド観光の多様化に貢献 ～

平成29年10月9日に開通した十勝オホーツク自動車道「陸別小利別IC～訓子府IC」の開通1年後の効果事例等についてお知らせします。

① 効果事例（別紙1～4参照）

- 救急搬送の速達性・安定性の向上により高次救急医療に寄与
- 災害時に強い高規格幹線道路が被災地支援活動に寄与
- インバウンド観光の多様化に貢献
- 日常生活の利便性・安全性向上に寄与

② 開通1年後の交通状況について（参考資料1）

③ 十勝・オホーツクにおける冬の主な地域イベント 冬道における安全運転のポイント（参考資料2）

※今回の開通区間は帯広開発建設部及び網走開発建設部が整備しています。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局

帯広開発建設部 道路計画課 課長 西山 泰幸 電話 0155-24-4106（内線351）

帯広開発建設部 広報官 田中 要 電話 0155-24-3193（内線214）

帯広開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>



網走開発建設部 道路計画課 課長 坂井 豪紀 電話 0152-44-6510（内線351）

網走開発建設部 広報官 佐々木 徹 電話 0152-44-6793（直通）

網走開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ab/index.html>



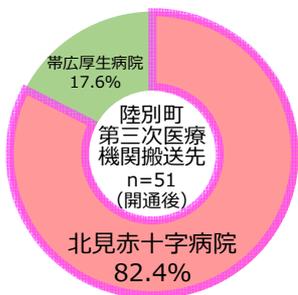
救急搬送の速達性・安定性の向上により高次救急医療に寄与



十勝オホーツク自動車道

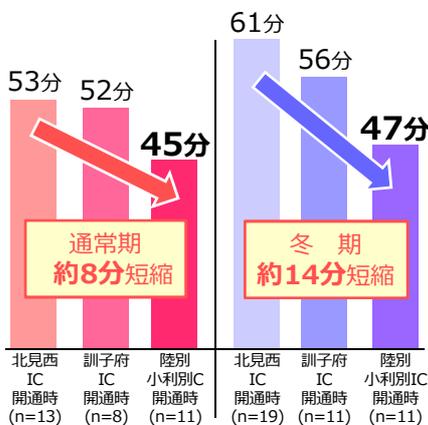
- 陸別町における第三次救急医療機関への搬送は、隣接医療圏域であるオホーツク圏域の北見赤十字病院への依存が約8割
- 十勝オホーツク自動車道の整備延伸により、陸別町から北見市への救急搬送時間は冬期で約14分短縮し、脳疾患患者の重症化抑制に寄与。また、北見赤十字病院から60分以内で搬送可能な圏域も拡大しており、心疾患患者の生存率向上に期待

陸別町の第三次救急医療搬送先割合



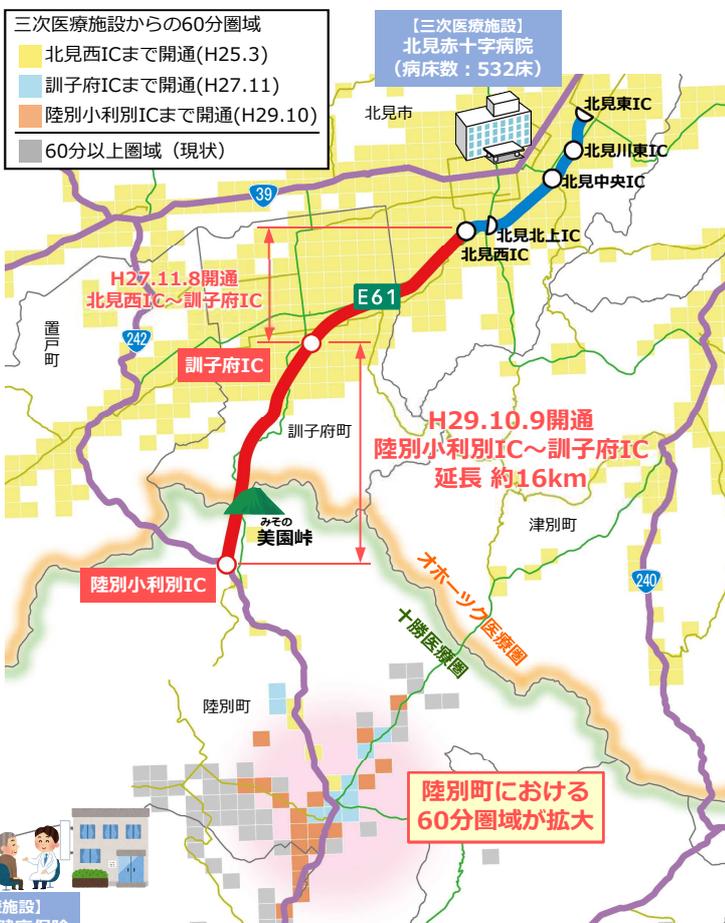
第三次救急医療は8割以上が北見赤十字病院へ搬送

救急搬送時間の変化 陸別町診療所→北見赤十字病院



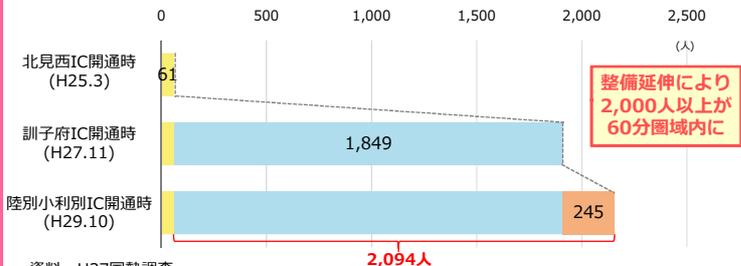
資料：陸別消防署 救急活動記録データ
 ※北見西IC開通時：H25.11.1~H26.7.31
 ※訓子府IC開通時：H28.11.1~H29.7.31
 ※陸別小利別IC開通時：H29.11.1~H30.7.31
 ※通常期：4~7月、冬期：11~3月

十勝オホーツク自動車道整備後の三次医療施設60分圏域

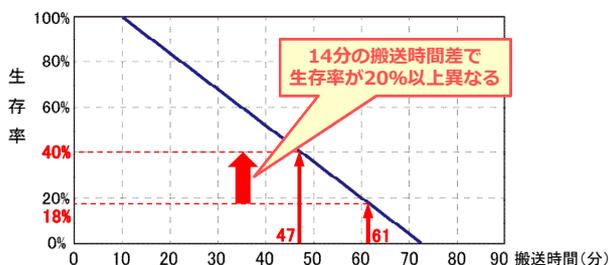


資料：H27国道調査
 ※60分圏域：北見赤十字病院から60分以内で搬送可能な範囲
 ※1kmメッシュのうち、居住人口1人以上のメッシュを表示
 ただし、メッシュの中心から直近のネットワーク（高速道路を除く）までの最短直線距離が1kmを超えるメッシュは対象外

▼陸別町の十勝オホーツク自動車道整備による60分圏域内の人口増加



▼搬送時間と生存率の関係（急性心筋梗塞）



資料：藤本他医師9名「道路整備による救急医療改善効果～経済性を偏重しない道路整備効果説明方法の提案～」交通工学 Vol.45, No.5, 2010
 ※搬送時間：覚知（コール119）～病院到着までの時間

声 ■ 陸別消防署

- ・ 陸別小利別IC～訓子府IC間の開通により、美園峠を回避できることに加え、十勝オホーツク自動車道は冬期の除雪水準も高く、迅速かつ安全な救急搬送が可能となった。特に脳疾患患者は第三次救急医療機関である北見赤十字病院で早期治療を受けられるようになり、重症化の抑制につながっています。
- ・ 美園峠の急カーブ等による揺れが減少し患者への負担も軽減されています。

災害時に強い高規格幹線道路が被災地支援活動に寄与



被災地に向けた段ボールベッドの提供
(日本赤十字北海道看護大学)

北見赤十字病院DMATの出動

十勝オホーツク自動車道

- 平成30年9月6日に発生した「北海道胆振東部地震」により、震源地に近い厚真町周辺では大規模な土砂災害・家屋倒壊が発生し、被災翌日には657名※¹が避難所へ避難
- 全道・全国から被災地へ向け支援が寄せられ、北見赤十字病院では災害発生当日からDMAT※²等を派遣、日本赤十字北海道看護大学からは国からの要請※³により段ボールベッド400台を災害発生2日後に厚真町の避難所へ提供
- 緊急性が求められる災害発生直後において、地震による影響が無かった十勝オホーツク自動車道および道東自動車道を利用し、約300km離れた被災地へ医療・物資の支援を安全・確実に輸送

北海道胆振東部地震時における、北見市からの防災物資（段ボールベッド）・医師等の輸送ルート

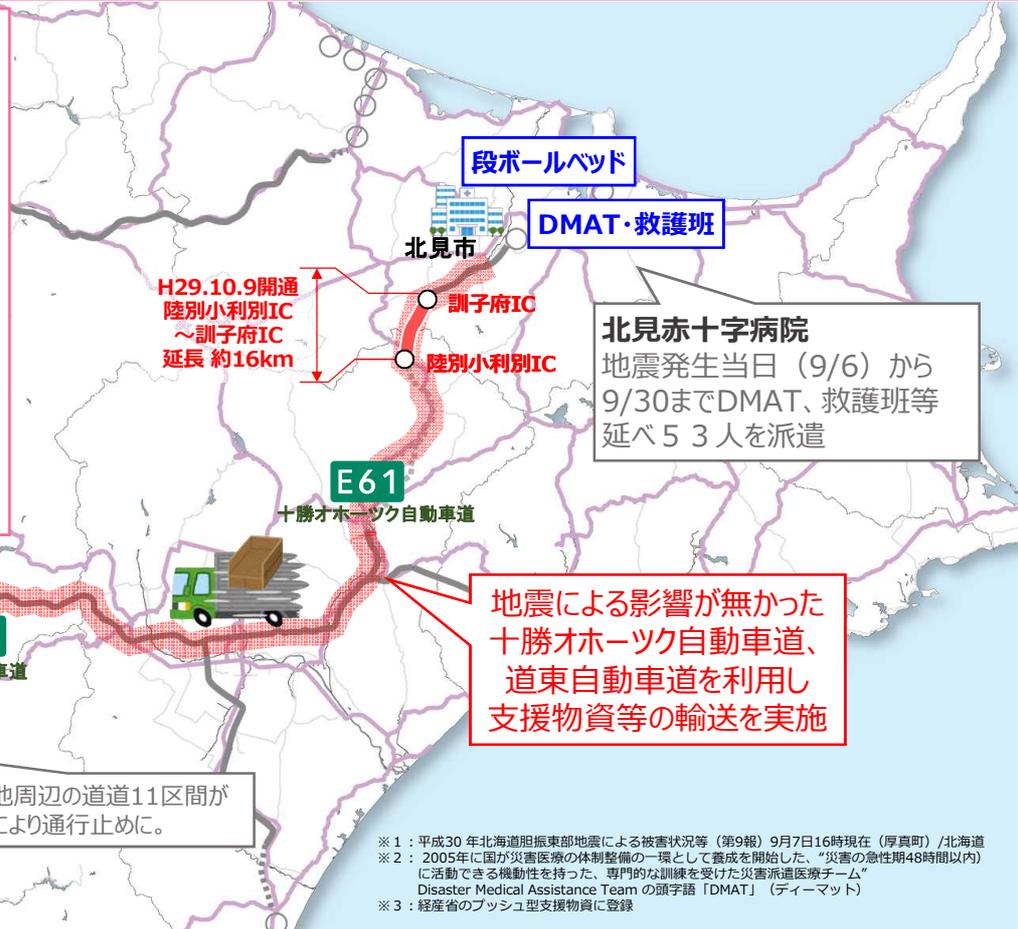
トピック：被災者を守る段ボールベッド

東日本大震災を機に開発された防災資材。床の硬さを軽減し、保温、遮音、エコノミークラス症候群対策などに有用。段ボールベッドの保有（備蓄）数は日本赤十字北海道看護大学（北見市）が道内で最大

▼段ボールベッドの設置状況（訓練時）



資料：日本赤十字北海道看護大学HP



※1：平成30年北海道胆振東部地震による被害状況等（第9報）9月7日16時現在（厚真町）/北海道
 ※2：2005年に国が災害医療の体制整備の一環として養成を開始した、「災害の急性期48時間以内」に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム「Disaster Medical Assistance Teamの頭字語「DMAT」（ディーマット）」
 ※3：経産省のプッシュ型支援物資に登録

声

日本赤十字北海道看護大学関係者

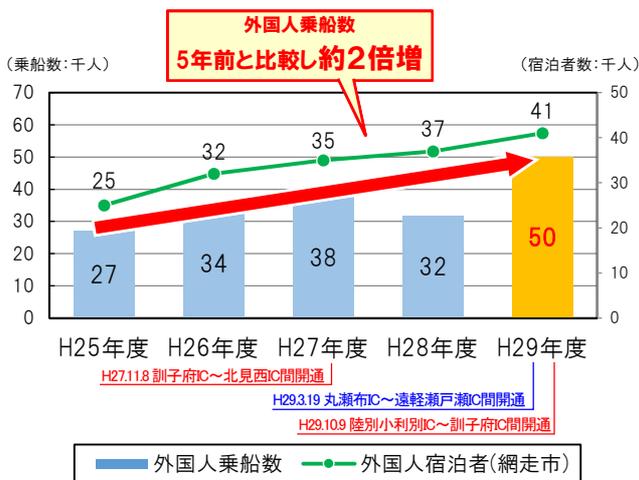
- ・段ボールベッドは、十勝オホーツク自動車道と道東自動車道を経由して被災地（厚真町）へ輸送。
- ・北見市出発が19時であったが、高規格幹線道路を利用することで、当日中に被災地に届けることができた。



十勝オホーツク自動車道

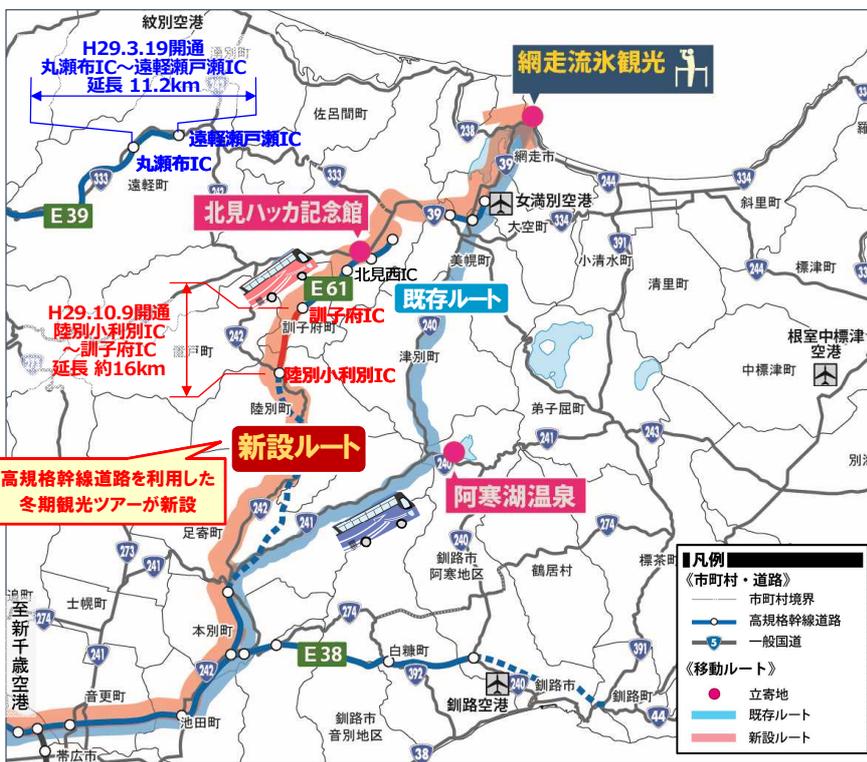
- オホーツク地域への高規格幹線道路の延伸に伴い、流水観光を目当てとして訪れるインバウンド観光客が近年2倍に増加
- 十勝オホーツク自動車道の延伸により、安全・確実な移動が可能となり、新たな外国人バスツアールートが追加設定されるなど、増加するインバウンド観光の多様化に貢献

インバウンド観光客の網走砕氷船乗船数



外国人乗船数：網走砕氷船に乗船した外国人の人数
 外国人宿泊者数：網走市内宿泊施設に宿泊した外国人の人数
 資料：網走観光協会、網走市

新設された外国人を対象とした流水観光バスツアーのルート



※外国人観光ツアー(新千歳空港発)のうち、帯広～網走間のツアールートを表示。

資料：観光事業者ヒアリング

トピック：網走は世界有数の流水観光地！

流水とともに訪れるアザラシなどの野生動物との出会いを楽しむことが出来る流水砕氷船や、流水に直接触れる流水ウォークなどの体験型観光の人気が高まっており、毎年国内外問わず多くの観光客がオホーツク地域に訪れます。

- ▼流水とともに訪れるアザラシ
- ▼流水ウォークを楽しむ観光客



資料：網走観光協会

外国人バスツアー代理店

外国人を対象とした流水観光バスツアーはリピーターが出るほど人気です。冬期も安全・確実に走行できる高規格幹線道路を利用することで、これまでに無い北見市経由のツアーを新たに追加設定しました。5年前に比べツアー商品数は約2割増えています。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
既存ルート	新千歳空港着	夕張宿泊	阿寒湖	網走市	旭川市	札幌市内
新設ルート	新千歳空港着	北見市内	網走市	旭川市	札幌市内	新千歳空港発

既存ルート：阿寒湖温泉に一泊し、翌日に流水観光（6日旅程）
 +
 新設ルート：新たに北見市内に立ち寄り、流水観光（5日旅程）
 ⇒ リピーターのニーズに対応したツアー選択肢が追加！



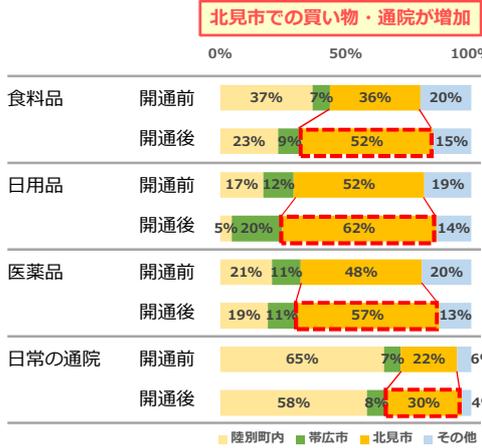
十勝オホーツク自動車道

- 陸別町民は、食料品や日用品の購入、通院など日常生活の多くの部分を北見市に依存しており、利用交通手段は主に自家用車。さらに平成18年4月にふるさと銀河線(池田～北見間)が廃線となり、陸別町から北見市への生活交通は、約9割が自家用車を利用する状況
- 陸別小利別IC～訓子府IC間の開通により、自家用車での移動時間が短縮するとともに安全性が向上し、買い物や通院など陸別町民の暮らしやすさが向上

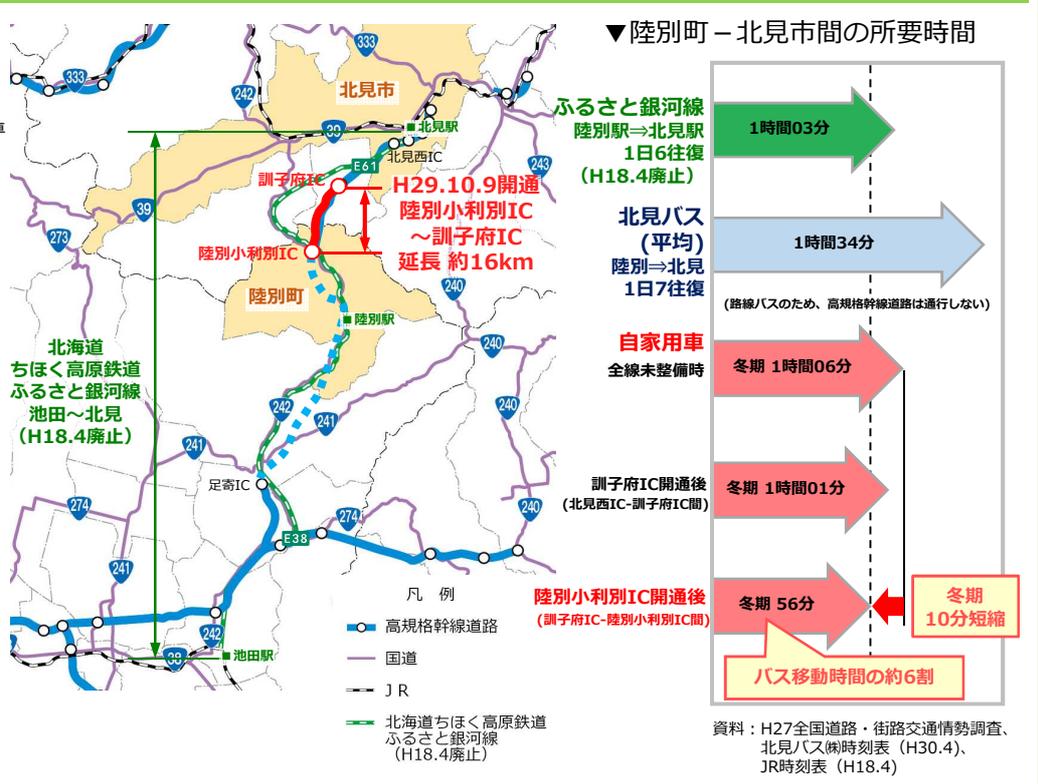
陸別町民の利用交通手段



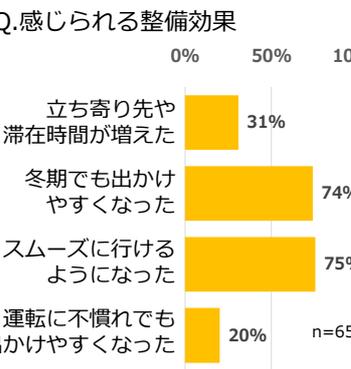
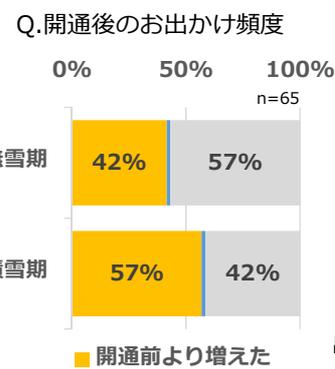
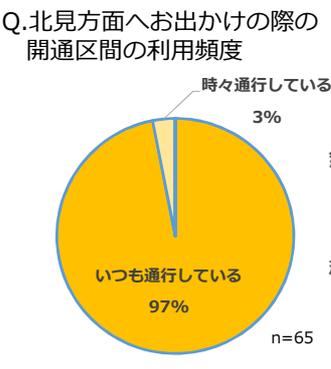
陸別小利別IC～訓子府IC間の開通前後の陸別町民の買い物・通院先の変化



陸別町～北見市間の移動状況



陸別小利別IC～訓子府IC間の開通による陸別町民へのアンケート結果

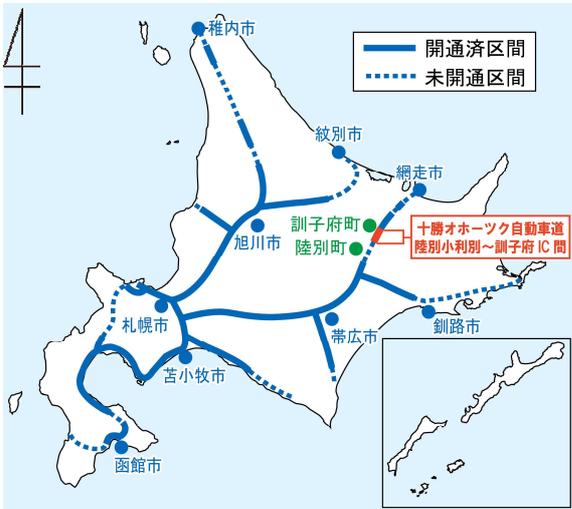


声 陸別町民

- 長女出産の時と比べ、開通後の長男出産・健診では、早く・安全に移動できる安心感を非常に大きく感じた。
- 陸別小利別IC開通により、冬期も安全に移動できるようになり、北見方面に買い物に出かける頻度が増えた。

十勝オホーツク自動車道 陸別小利別IC～訓子府IC 開通1年後の交通状況について

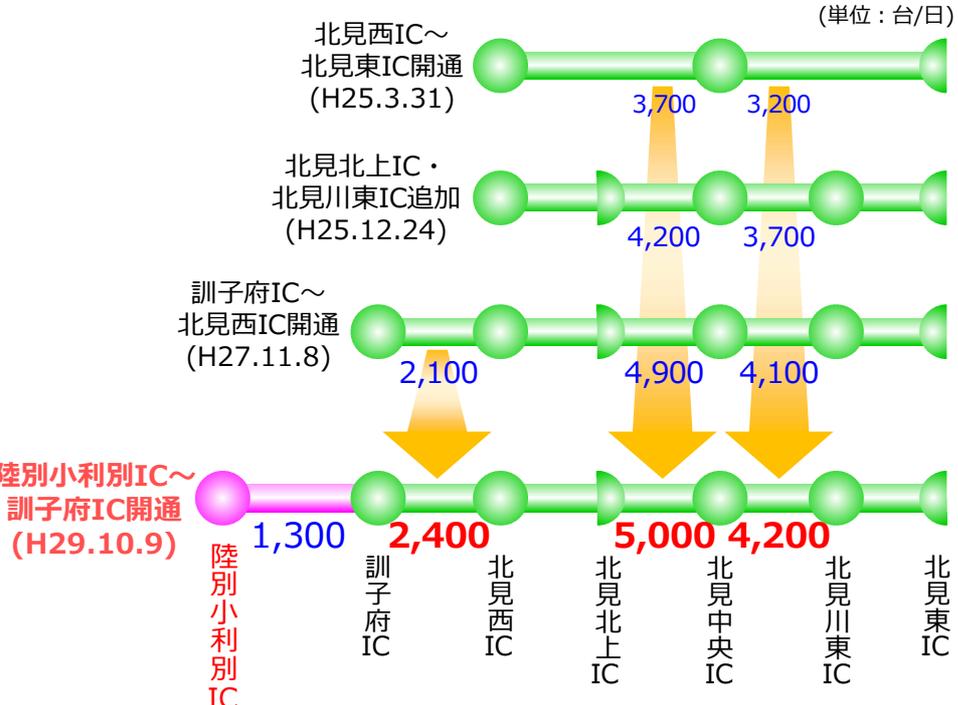
○陸別小利別IC～訓子府IC間の開通に伴い、十勝オホーツク自動車道の既に開通している区間における交通量が増加しています。



**H29.10.9開通
 陸別小利別IC～訓子府IC
 延長 約16km**



▼十勝オホーツク自動車道の交通量推移



▼開通区間 (陸別小利別IC～訓子府IC)



※ (1段目) H25. 10. 10 ～ H26. 10. 9
 (2段目) H26. 10. 10 ～ H27. 10. 9
 (3段目) H28. 10. 10 ～ H29. 10. 9
 (4段目) H29. 10. 10 ～ H30. 10. 9の1年間平均にて算出

■これから十勝・オホーツク地域にも本格的な冬の観光シーズンが到来します。十勝オホーツク自動車道 陸別小利別IC～訓子府IC間が開通したことで各種イベントにも一層訪れやすくなりました。



① 網走流水観光砕氷船おーろら



運航期間 2019年1月20日(日)～4月3日(水)
乗船場所 道の駅「流水街道網走」

② あばしりオホーツク流氷まつり



開催期間 2019年2月9日(土)～11日(月)
開催場所 網走商港埠頭特設会場

③ 北見冬まつり



開催期間 2019年2月2日(土)～3日(日)
開催場所 駅南多目的広場

④ 北見厳寒の焼き肉まつり



開催期間 2019年2月1日(金)
開催場所 北見芸術文化ホール 特設会場

⑤ 訓子府さむさむまつり



開催期間 2019年2月3日(日)
開催場所 訓子府町公民館前特設会場

⑥ しばれフェスティバル



開催期間 2019年2月2日(土)～3日(日)
開催場所 陸別町イベント広場

⑦ ウッドキャンドルナイト



開催期間 2019年2月2日(土)
開催場所 道の駅 あしよろ銀河ホール21



凡例

	一般国道
	高規格幹線道路
	供用区間
	事業区間
	予定路線区間

⑧ おとふけ十勝川白鳥まつり「彩凜華」



開催期間 2019年1月26日(土)～2月24日(日)
開催場所 十勝が丘公園

⑨ おびひろ氷まつり



開催期間 2019年2月1日(金)～3日(日)
開催場所 緑ヶ丘公園

・路面状況や気象情報に気をつけて安全運転で十勝・オホーツク地域の魅力的な観光を満喫してください。

冬道における安全運転のポイント

冬道は、路面の凍結・積雪または降雪による視野の制限など、平常時に比べると事故が多くなります。冬道の特徴と、注意すべきポイントをまとめましたので安全運転にお役立てください。

● 交差点とその周辺の注意
交差点は車から発生する熱で路面の雪氷が溶けて、表面に水が浮き非常に滑りやすい状態になります。溶けているからといって油断はできません。

● 橋や高架道路の注意
上下から冷やされるため、他の路面が乾いているよりも、そこだけ凍ってアイスバーンになっていることがあります。

● 急ブレーキの危険性と注意
圧雪や凍結路面での急ブレーキは、摩擦熱でタイヤとの間に水滴ができるため、滑りやすくなります。

● トンネルの出入口付近の注意
日陰になっていることが多いので、路面が凍ってブラックアイスになっていることが多くあります。

北海道開発局の「北海道地区 道路情報」

道路規制情報や道路気象情報をホームページで確認できます

見られる情報は・・・

- **道路規制情報**
国道及び道道の通行止め情報を確認できます。
- **道路気象情報**
雨量や積雪(冬季のみ)の気象情報を確認できます。
- **道路画像情報**
画像を見て最新の道路状況を確認できます。

PC版 <http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/index.htm>
携帯版 <http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/m/>
スマホ版 <http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/sp/>